



広報



七夕まつりキャラクター「たっけー☆☆」

FUSSA



平成22年(2010年)

8月1日 No. 812

発行/福生市 編集/企画財政部秘書広報課 〒197-8501 福生市本町5 ☎042-551-1511 (市役所代表) 毎月1日・15日発行

ホームページ <http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

今号の主な記事

2面 住民票等の電話予約サービス 3面 市内の町会・自治会を紹介します 4面 ごみ・資源に関するポスター・標語を募集 5面 ラジオ体操実施 6面 多摩川ウォーキングフェスタ開催 7面 福生に関するチラシ・ポスター募集 8面 市職員募集

8月7日(土)は七夕まつり期間中のため、市役所は閉庁します。問合せ企画調整課企画調整担当 ☎51・1528

平和のつどいにご参加ください

「市民が語る福生・昭和30年代パートⅢ」

市主催の「平和のつどい」を開催します。皆さんお誘い合わせのうえ、お気軽においでください。

23回目となる今年は、一昨年から始まりました「市民が語る福生・昭和30年代」のパートⅢとして、右記の方々に貴重なその当時のお話を講演していただきます。

福生市内にある清岩院が戦時中は陸軍の宿舎となっていたことから、当時の様子やエピソード等を榎本令秀氏にお話いただく予定です。また、昨年に引き続き、講演の後で、企画委員や会場の皆さんも参加していただき、座談会形式でディスカッションをする予定です。

また、今年は「昭和を歌う」と題し、福生市在住のジャズ・シンガーのダイナマイト・ミキさんを招き、懐かしい日本の歌謡曲と一緒に歌うなどを企画しています。興味のある方は奮ってご参加ください。

日時

8月15日(日)
午後1時開場
午後1時30分開演

場所

市民会館小ホール
(つつじホール)
※入場無料

内容

【講演】
榎本令秀氏
テーマ「ある軍人」
【座談会】
坂本丁次氏・清水勇司氏
石川和夫氏・原嶋卓美氏
松坂直人氏
【昭和を歌う】
ダイナマイト・ミキ

問合せ

総務課法制総務係
☎551・1576

平和のつどい

市民が語る福生

昭和30年代パートⅢ

平成22年 8月15日

市民会館小ホール

午後1時30分～午後3時30分 (開場 午後1時00分)

講演テーマ・講演者
「ある軍人」 榎本令秀氏

座談会 講演者と企画委員参加
企画委員 坂本丁次氏 原嶋卓美氏 石川和夫氏
清水勇司氏 松坂直人氏

昭和を歌う
出演 ダイナマイト・ミキ

みなさんの参加をお待ちしています。

主催 福生市

入場無料



福生第一国民学校 昭和20年(当時の監視哨を写す希少な写真)



福生第一国民学校「防空日誌」

◆一小の監視哨を裏付ける貴重な写真(1945年3月撮影)、防空日誌が現在郷土資料室で開催中の特別資料展「戦時下の学校とこどもたち」で展示されています。

B29の動きを見張った 福生一小の監視哨

三百万人以上もの日本人が死んだ戦争があった。戦場に屍をさらした若者、空襲などで死んだ市民。遠い昔ではなく、昭和という身近な時代だ。1941年12月8日、日本は世界を相手に太平洋戦争を始めた。

戦時中、福生市の市立第一小学校(当時は福生町・福生第一国民学校)校舎2階の屋根の上に設けられ、米軍の大型爆撃機B29の動きを見張った監視哨があった。当時を知る同小OBらの話によると、監視哨は東京への空襲が始まった44年10月ごろ設置され、消防団(当時は警防団)員らが昼夜交代で監視に立ったという。

当時校長を務めた浜中雄一さん(故人)が、44年11月から終戦の45年8月15日まで監視哨の活動を「防空日誌」(2冊)に記録していた。45年3月10日の東京大空襲の日誌には「B29数十機帝都旋回爆撃ス、東方二追撃ノ砲火見ユ、一天紅ニシテ大火災ノ発生ヲ思ハシム」などと記されている。

監視哨は47年には取り壊された。終戦時、米軍に戦時中の軍事関係の書類や写真はすべて焼却するよう命じられたため、当時の資料はほとんど残っていない。防空日誌は浜中校長が戦後、ひそかに自宅に持ち帰り保存していたが、古本と一緒に回収業者に渡ったらしい。86年、市文化財保護審議会委員が隣の羽村市の古書店で見つけ、市が買い戻した。

平和のつどい企画委員 坂本 丁次

SPコードを掲載しています!

目の不自由な方の情報ツールとして開発された二次元シンボル「SPコード」を、紙面に掲載しています。コードは専用の読取装置を使い、記録されている文字情報を音声で聞くことができます。

毎月1日号の奇数面の記事をそれぞれ抜粋してコード化し、触って位置がわかるように半円状の切り込みを入れています。

問合せ秘書広報課広報広聴係 ☎551・1568

全力投球



福生市長 加藤育男 NHKラジオ体操福生市大会にて

「今を生きる」こと

戦後、我が国は平和と復興、繁栄を真摯に求めた結果、世界に類を見ないほど短期間で、経済的に豊かな国へと発展しました。

それは過去の大戦において戦地に散り、あるいは戦後遠い異郷の地で亡くなられた戦没者の方々の、ご家族や日本の行く末を案じる尊い真心が、新たな祖国復興への思いとして、残された皆様方に引き継がれた結果だと確信しております。

「今を生きる我々は、先人のご苦労の上にあぐらをかいてはいないだろうか。」

今年が市制施行40周年、七夕まつりが第60回、そして横田基地ができてから70年の節目の年だからこそ、度々考えさせられます。

すでに我が国は経済成長一辺倒の時代が終わり、内外情勢も混沌としております。かつては考えられなかった社会全体のモラルが欠如したような事件も起きています。

先人の努力を無駄にしないためにも、恒久的な平和を願い、より良い国づくり、地域づくりを市民の皆様と一緒に考えなければならぬと思っております。

8月15日の平和のつどいに、皆様ぜひご参加ください。

